

鐵 と 鋼 第十七年 第十一號 昭和六年十一月二十五日發行

目 次

	頁
鋼の冷却現象	堀江鐵男 1103
鐵・セメント・硫化鐵系平衡狀態圖	佐藤知雄 1126
鐵鋼中コバルトの存在に於けるニツケルの定量に就て	金子吉雄 1150

抄 録 1156

○2) 耐火材、燃料及驗熱 ○銻鑛爐用骸炭の見方に對する新らしい智識 ○ザール地方に於ける狭室式、骸炭製造に關して ○3) 銑鐵及鐵合金の製造 ○水礬土鑛製銑と礬土セメント ○高爐裝入口粉塵抑へ装置 ○4) 鋼及び鍊鐵の製造 ○ヂルコン添加に依る鋼及び鑄鐵の改善 ○燐酸鹽鑛滓研究 ○獨逸トマス轉爐寸法及び作業比較 ○5) 鑄造作業 ○回轉砂型製鐵管の製造 ○最大鑄鋼製作 ○6) 鍛鍊及び熱處理並に各種仕上法 ○金屬の不銹燒鈍とその雰圍氣の影響 ○模棍鍛鍊 ○表面硬化法最近の進歩 ○汽鎚及び水壓機に指示装置設置 ○7) 鐵及び鋼の性質 ○Ti 鐵硬度變化 ○歪模様と時効 ○銅・ニツケル鋼の海水に對する抵抗 ○鑄鐵肉厚・化合炭素・硬度・諸元素關係 ○ガンマー鐵の C 熔解能力上合金元素の影響 ○8) 非鐵金屬及合金 ○Al の長期抗張試驗 ○耐熱耐硫黃合金研究 ○耐高壓緻密砲金鑄物 ○高溫計と眞鍮鑄造 ○9) 化學分析 ○鋼中空素定量 ○鋼中の $O_2 \cdot N_2 \cdot H_2$ 定量に Mn・Al の影響 ○各種合金鋼硫黃定量法比較 ○銑鐵硫黃定量法比較 ○10) 工業經濟及び政策 ○災害防止に對する能率評議會 ○工業教育 ○眞鍮熔解費比較 ○11) 雜 ○サンドブラスト口徑と壓力

雜 録 1176

○遠心鑄造法に就て (2) ○英國の鐵鋼業者と造船業者との提携 ○製鐵國策樹立に商相三案を説明 ○日本標準規格 (錫地金、錫地金分析方法、鐵及鋼マンガ分析、鐵及鋼磷分析方法、變壓器油、開閉器油) ○内外最近刊誌參考記事目次 ○主要製鐵所に於ける鐵鋼材生産高調 ○主要製鐵所に於ける鐵鋼材生産高調 ○主要製鐵所に於ける鐵鋼材生産高調 ○昭和6年8月中重要生産月報抜萃 ○昭和6年9月中重要生産月報抜萃 ○昭和6年9月中外國鉄輸入高 ○ペンシルベニア鐵道の152 封度軌條使用	
○特許出願公告及明細書抜萃 ○フアデー氏百年祭	1203
日本鐵鋼協會記事	1207
商 況 (販賣旬報 No. 176, 177, 178. 號)	1208

“ TETSU TO HAGANE ”

THE JOURNAL OF THE IRON AND STEEL INSTITUTE OF JAPAN.

Vol. XVII, No. 11. NOVEMBER 25, 1931.

Cooling Phenomena of Steel	
by Tetsuo Horie, <i>Kogakushi</i>	1103
On The Equilibrium Diagram of the $Fe-Fe_3C-FeS$ System	
by Tomo-o Sato, <i>Kogakushi</i>	1126
On The Determination of Nickel in Iron and Steel in the Presence of Cobalt,	
by Yoshio Kaneko, <i>Kogakushi</i>	1150
Abstracts	1156
Miscellaneous	1176
Patents	1203
Proceedings of the Institute	1207
Iron and Steel Market	1208

PUBLISHED AT THE INSTITUTE OFFICE.

Higashi-Shichigo-kwan, No. 2, Marunouchi-Sanchome, Kojimachi-ku

TOKYO JAPAN,

(Tel. Marunouchi, No. 3,626)